2026

WASEDA BUSINESS SCHOOL

Executive Program

2026年度
2回開講

早稲田大学ビジネススクール

エグゼクティブプログラム　シニア·マネジメント講座

① 2026年11月 9 日(月) —2026年11月13日(金) 5日間

② 2026年11月16日(月) —2026年11月20日(金) 5日間

WASEDA University

開催概要

プログラム概要

- 本プログラムは近い将来シニア・マネジメントとして企業・事業経営に携わる方、あるいはすでにシニア・マネジメントとして企業・事業経営に携わっている方を対象としています。
- シニア・マネジメントはミドル・マネジメントと何が違うのか、知っておくべき経営知識は何か、どのような視座・視点を持つべきなのかを5日間連続の集中学習で学んでいきます。
- 生成AI、デジタル革命、グローバル化・反グローバル化、ソーシャル・ビジネス、サステイナビリティ等、事業環境変化のスピードがますます加速し、将来が読みにくくなりつつある今日において、すぐに陳腐化する「知識」ではなく、どのような環境変化に対しても自ら状況を把握し、意思決定し、行動できるような「思考方法、視点・視座」を醸成することを目的としています。
- 5日間連続、1日1分野で、マーケティング、戦略、イノベーション、ファイナンス、リーダーシップといった、シニア・マネジメントとして習得しておくべき各分野の本質を学ぶ構成になっています。
- 今年のテーマは、『トランスフォーメーション』です。

プログラムコーディネーター　**菅野 寛**

プログラムの特徴

- 5日間連続の集中学習により、企業・事業の経営に携わるシニア・マネジメントとして知っておくべき分野、習得すべき思考方法を効率よく学びます。
- ビジネスの実例を使いながら、受講生は実際のビジネスの現場での意思決定を疑似体験しながら、自ら考えていきます。
- 一方的な講義ではなく、受講生と講師、受講生間、あるいはゲストスピーカーとの本音のディスカッションから学んでいきます。多様なバックグラウンドの受講生が一堂に会してお互いの経験を共有しながら触発を促します。
- 環境変化によってすぐに陳腐化する「知識」ではなく、どのように環境が変化しても通用する「思考方法、視点・視座」を受講生が自ら考えながら学びます。

1 日のスケジュール（例）

9:00–10:30	10:30–12:00	12:00–13:00	13:00–15:00	15:00–17:00	夜
講義	グループ討議	昼食	ケーススタディ	全体討議・まとめ	月　ウェルカムパーティー 金　修了パーティ

カリキュラム　2回共通

※内容は一部変更になることがあります。

1日目　テーマ　「イノベーション創出」　牧 兼充

日本企業にとってもっとも重要な経営課題は、「イノベーション創出」である。本セッションでは、先端的な経営学の知見を踏まえて、デザイン思考のプロセス、仮説検証のプロセス、データ分析などの手法と導入事例、「失敗のマネジメント」など、これからの時代のイノベーション創出に欠かせない考え方を、網羅的に扱う。

2日目　テーマ　「マーケティング」　澁谷 覚

前半はベーシックなマーケティングの理解を確認し、後半は近年のデジタル化された消費者行動を前提としたマーケティングの課題を議論する。前半では、セグメンテーションやポジショニングといった基礎を確認しつつ、立ち上がったばかりのブランドが成長していくプロセスに沿って、市場や顧客の特性の変化を捉え、マーケティングがどのように対応するべきかを議論する。後半では、リキッド消費やサブスクなどの広まりを背景としてブランドが希薄化し、従来のマーケティングが通用しにくくなっている現代において、デジタルを中心としたマーケティングが直面する課題を議論する。基本的にBtoCマーケティングを中心に進めるが、午後のパートではBtoBマーケティングとの異同についても議論する。

3日目　テーマ　「組織におけるリーダーシップとコミュニケーション」　杉浦 正和・谷 益美

このクラスは、参加型のワークショップで行う。参加者各人の「持論」を持ち寄り、「議論」を行い、主要な「理論」を紹介しながら理解を高めることを目的とする。前段ではリーダーシップの本質をマネジメントとの比較において理解する。中段では組織について多角的に理解しマネジャーあるいはリーダーとして組織の維持と変革にどのように関わるか議論する。後段ではコミュニケーションについて、当該分野の第1人者を招いて議論を行う。

4日目　テーマ　「戦略と実践」　菅野 寛

戦略的思考とは何か？　戦略的に考えて意思決定することがなぜ、重要なのか？　本セッションでは、経営学の教科書に出てくる戦略を考えるフレームワークを学ぶのではなく、実際の経営現場において自分で戦略的に考え、自分でフレームワークを考えることの重要性を学ぶ。アプローチとしては実際の企業が直面した経営課題を経営者になりきって考えて意思決定するケーススタディを行う。また講義よりも受講生間の討議を通じて学んでいく。

5日目　テーマ　「経営者のためのコーポレート・ファイナンス」　伊藤 友則

企業価値、資本コストの概念、リスクとリターンの関係、資本構成、企業価値、株価、株主還元など経営者にとって必要なファイナンスの知識を学ぶ。また最近活発になっているM&Aの成功方法についても議論する。

講　師

澁谷 覚　Satoru Shibuya
■ 早稲田大学ビジネススクール教授

■研究テーマ：消費者行動
■略歴：東京大学法学部卒業、東京電力（株）に勤務。慶應義塾大学でMBAを取得。同社退社後に慶應義塾大学で博士（経営学）を取得。新潟大学助教授、東北大学教授、学習院大学教授、レンヌ第一大学ビジネススクール客員教授等を歴任。この間学習院大学では2020～21年に国際社会科学部長を務めた。2022年より現職。

■主要著書：
『はじめてのマーケティング（新版）』（共著）有斐閣 2022年
『グラフィックマーケティング』（共著）新世社 2020年
『1からのデジタルマーケティング』（編著）碩学舎 2019年
『そのクチコミは効くのか』（共著）有斐閣 2018年
『類似性の構造と判断：他者との比較が消費者行動を変える』有斐閣 2013年

杉浦 正和　Masakazu Sugiura
■ 早稲田大学ビジネススクール教授

■研究テーマ：人材・組織・リーダーシップ
■略歴：1982年京都大学卒業、1990年スタンフォード大学ビジネススクールMBA。日産自動車にて海外企画業務に従事した後、ベイン&Co.およびマーサーにて経営コンサルタント、シティバンクにてリーダーシップ開発責任者、シュローダーにて人事部長をつとめる。2004年から早稲田大学で教鞭を執り、2008年から現職。2016年より2018年まで早稲田大学経営管理研究科教務主任。2019年から2023年まで国立音楽大学理事を兼務。早稲田大学グローバル・ストラテジック・リーダーシップ研究所所長。

■主要著書：
『幸運学』日経BP 2020年
『入社10年分のリーダー学が3時間で学べる』日経BP 2017年
『MBA「つまるところ人と組織だ」と思うあなたへ』同友館 2014年
『ビジネスマンの知的資産としてのMBA単語帳』日経BP 2012年

谷 益美　Masumi Tani
■ 早稲田大学ビジネススクール（MBA）非常勤講師
株式会社ONDO 代表取締役

■研究テーマ：ビジネスコーチング・ファシリテーション
■略歴：1974年香川県生まれ。香川大学卒。建材商社営業職、IT企業営業職を経て2005年独立。専門はビジネスコーチング及びファシリテーション。企業、大学、官公庁などでコーチング研修やコーポレートコーチングなど、年間約200本の実践的学びの場作りを行う。2015年&2019年、優れた講義を実施する教員に贈られる「早稲田大学Teaching Award」を受賞。
■主要著書：『入門 新リーダーの必須スキル チームがまとまる! 成果が上がる! ファシリテーション・ノウハウ』PHP研究所 2021年／『リーダーのための! コーチングスキル』すばる舎 2017年他

伊藤 友則　Tomonori Ito
■ ビジネス・ファイナンス研究センター 研究院教授

■研究テーマ：コーポレートファイナンス、M&A
■略歴：東京大学経済学部卒業、ハーバード大学経営大学院修士（MBA）。東京銀行を経て、1995年にUBS銀行入社、1998年から2010年までUBS証券会社投資銀行本部長を務める。数々の民営化案件、IPO、株式の公募増資、大型M&A案件を自ら手掛ける。日本の投資銀行業界において、草分け的インベストメントバンカーとして知られる。2011年に一橋大学大学院国際戦略研究科特任教授、2012年に同教授。2017年に同大学院EMBAプログラムを創設しプログラム・ディレクターに就任。
2021年9月より早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター研究院教授。

菅野 寛　Hiroshi Kanno
■ 早稲田大学ビジネススクール教授（プログラムコーディネーター）

■研究テーマ：オペレーションマネジメント、経営戦略、経営実践論
■略歴：東京工業大学工学部卒業、同大学院修士課程修了。米カーネギー・メロン大学経営工学修士（MBA with Award）。日建設計、ボストン コンサルティング グループ（BCG）を経て一橋大学ビジネススクール教授。2012年4月から2014年3月まで同学 国際企業戦略研究科研究科長。2023年2月から2024年1月までアアルト大学（フィンランド）客員教授。2016年9月より早稲田大学ビジネススクール教授。

■主要著書：
『全社戦略がわかる』日本経済新聞出版社 2019年
『経営の失敗学』日本経済新聞出版社 2014年
『経営者はこう育てる』日経ビジネス人文庫 2011年

牧 兼充　Kanetaka Maki
■ 早稲田大学ビジネススクール准教授

■研究テーマ：技術経営、アントレプレナーシップ、イノベーション、科学技術政策
■略歴：2015年カリフォルニア大学サンディエゴ校にて、博士（経営学）を取得。主な兼職として、国立研究開発法人日本医療研究開発機構監事、カリフォルニア大学サンディエゴ校ビジネススクール客員准教授、高知大学客員教授、宇都宮大学客員教授など。スタンフォード大学社会・環境工学科客員准教授、慶應義塾大学理工学部訪問准教授などを歴任。日米の大学において理工・医学分野での人材育成、大学を中心としたエコシステムの創生に携わる。専門は、技術経営、アントレプレナーシップ、イノベーション、科学技術イノベーション政策、フィールド実験など。経済産業省産業構造審議会イノベーション小委員会委員、内閣官房「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」構成員、経団連「Science to Startup Task Force」メンバー、文部科学省戦略的調査分析機能に関する有識者懇談会委員などを歴任し、日本のイノベーション政策に深く関わる。その他、社会貢献活動として、日経クロステックが選ぶCTOオブ・ザ・イヤーの審査員等を務める。
■主要著書：『科学的思考トレーニング 意思決定力が飛躍的にアップする25問』PHP研究所 2022年
『イノベーターのためのサイエンスとテクノロジーの経営学』東洋経済新報社 2022年
『「失敗のマネジメント」がイノベーションを生む』（『DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー』2020年3月号掲載）
『東アジアのイノベーション：企業成長を支え、起業を生む〈エコシステム〉』（共著）作品社 2019年
『グローバル化、デジタル化で教育、社会は変わる』（共著）東信堂 2021年

※内容は一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

タイムスケジュール（予定）

※内容は一部変更になることがあります。

	時　間	プログラム	講　師
1日目（月）	9:00～9:20	イントロダクション（シニア・マネジメント講座の全体像）	早稲田大学ビジネススクール教授　菅野 寛
	9:20～12:15	デザイン思考ワークショップ	早稲田大学ビジネススクール准教授　牧 兼充
	12:15～13:15	昼　食	
	13:15～14:45	Simulation "The Food Truck Challenge"	
	15:00～16:30	ケース・ディスカッション「Racial Discrimination on Airbnb」	
	16:40～17:00	Wrap-up	
	17:15～18:30	ウェルカムパーティー	
2日目（火）	9:00～10:30	ショートケース「ある日の午後のカフェ風景」	早稲田大学ビジネススクール教授 澁谷 覚
	10:40～12:00	ディスカッション;ブランドの成長プロセスとマーケティング	
	12:00～13:00	昼　食	
	13:00～15:00	ケース「スターバックス」	
	15:10～17:00	ブランドと消費者行動	
3日目（水）	9:00～ 9:20	進め方と相互理解	早稲田大学ビジネススクール教授　杉浦 正和 株式会社ONDO 代表取締役/ 早稲田大学ビジネススクール非常勤講師　谷 益美
	9:20～10:30	リーダーシップとマネジメント	
	10:40～12:00	組織についての多角的な理解（前半）	
	12:00～13:00	昼　食	
	13:00～14:00	組織についての多角的な理解（後半）	
	14:10～16:20	「コミュニケーション」 シニア・マネジメントとしてのコミュニケーション	
	16:30～17:00	振り返り	
4日目（木）	9:00～10:30	ケーススタディ（1）	早稲田大学ビジネススクール教授　菅野 寛
	10:30～11:20	戦略的思考とは/フレームワークの罠	
	11:20～12:00	ミニ演習（1）	
	12:00～12:50	昼　食	
	12:50～13:30	ミニ演習（2）	
	13:30～15:00	パラダイムシフト、デジタル革命	
	15:00～16:50	ケーススタディ（2）	
	16:50～17:00	本日のまとめ	
5日目（金）	9:00～12:00	ケースの議論、講義「資本コスト、資本構成、企業価値」	ビジネス・ファイナンス研究センター 研究院教授 伊藤　友則
	12:00～13:00	昼　食	
	13:00～15:00	講義「株価、株主還元」	
	15:00～17:00	講義と議論「M&Aに成功する方法」	
	17:15～18:30	修了式・修了パーティー	

参加企業・機関一覧

（社名 五十音順）　　2017〜2025年度

会　社　名
アズビルTACO㈱
伊藤忠丸紅鉄鋼㈱
㈱INPEX
NRIセキュアテクノロジーズ㈱
NRIデジタル㈱
㈱オリエンタルランド
北日本JA畜産㈱
キヤノンITソリューションズ㈱
キヤノンシステムアンドサポート㈱
キヤノンマーケティングジャパン㈱
㈱共立メンテナンス
クオリサイトテクノロジーズ㈱
グローブライド㈱
興安計装㈱
コカ・コーラ ボトラーズジャパン㈱
三共ラヂエーター㈱
ジャパン　マリンユナイテッド㈱
JA全農青果センター㈱
JA全農ミートフーズ㈱
㈱静岡銀行
静銀モーゲージサービス㈱
スチールプランテック㈱
㈱SUBARU
住友化学㈱
住友金属鉱山㈱
住友生命保険相互会社
セイコーウオッチ㈱
セイコーソリューションズ㈱
セイコーホールディングス㈱
セゾン自動車火災保険㈱
全国農業協同組合連合会
㈱大気社
㈱中電工
千代田化工建設㈱
TIS㈱
㈱DSB情報システム
電源開発㈱
東京建物㈱
㈱東芝
東芝エネルギーシステムズ㈱
東芝総合人材開発㈱
東芝デジタルソリューションズ㈱
豊通エネルギー㈱
日産自動車㈱
日本紙パルプ商事㈱
日本精工㈱
日本ゼオン㈱
日本電信電話㈱
日本農薬㈱
㈱日本マイクロニクス
日本無線㈱
㈱野村総合研究所
パナソニック㈱
パナソニック ホールディングス㈱
㈱PFU
PwCコンサルティング合同会社
東日本旅客鉄道㈱
広島県
富士通㈱
㈱富士通マーケティング
マイクロンメモリジャパン合同会社
丸紅㈱
三井住友DSアセットマネジメント㈱
三井倉庫㈱
三井倉庫インターナショナル㈱
三井倉庫ホールディングス㈱
三菱鉛筆㈱
三菱商事RtMジャパン㈱
三菱商事ライフサイエンス㈱
三菱電機エンジニアリング㈱
㈱明電舎
ヤマハ㈱
ヤマハ発動機㈱
ユニ・チャーム㈱
㈱ロペライオ

受講生の声

Q　受講しての率直な感想をお聞かせください。

A　短期間でマネジメントに必要な視点を具体的な事例、環境変化等の新しい情報をまじえて体系的に学べました。ディスカッションをした受講生とのつながりも含めて、一生の財産となります。

A　現業をしているだけでは得られない話が多く刺激を受けました。フレームワーク、メソッドという理論中心ではなく、実践をふまえたケースの取組み、議論・意見交換がベースとなっていて非常に腹落ちしやすい内容でした。

A　期待感をもって参加しましたが、想像以上のInputができました。すぐに現業で活用できる、非常に実践的なプログラムでした。

A　目から鱗の五日間でした!ここで学べることは必ず実務に生きてくると思います。シニアマネジメントに必要な教養を得るだけでなく、リーダーとして失敗をおそれず前へ踏み出すために背中を押してもらえた気がします。

A　他流試合として、学びだけではなく、様々なバックグラウンドを持つメンバーと交流できたことがとても刺激になりました。

Q　特に印象に残った気づき・学びは何でしたか?

A　企業価値を高めていくために、不確実な中でも攻めるべし、失敗しながらも学びを得て前に進めるべし、ということです。

A　すべての内容が刺激的で新たな気づきを得られたが、これまで触れてこなかったという点でのコーポレートファイナンスと、意識を変える必要を感じたという点でのイノベーションが特に印象に残った。

A　経済環境や労働人口の変化、DX化の潮流で生産性や業務効率の要求が高まる中で、マネジメントにおける質の変化が要求されており、ファイナンスやマーケティング、リーダーシップ等幅広い領域でのリテラシーを身に付ける必要性を感じました。

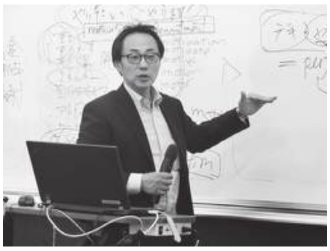
A　リーダーシップや組織とコミュニケーションの重要性を改めて感じた。またファイナンスの知識を更に習得すべきであると強く認識した事。

A　失敗すべき、ということ。失敗を奨励すべき、ということ。不確実性をおそれずに実験・実行を促す、ということ。

Q　今後受講する方へ、一言お願いします。

A　考え続ける、備える、ということについてかなり意識が変わり、体と頭に染み込むと思います。いうまでもなく「自ら」が大切ですので勇気を持ち一歩踏み込んでもらいたいです。

A　企業を変えるために、企業価値を高めるために、自らを変えるきっかけ・糸口をもらえる講座です。ぜひ参加して、同じく参加してくるさまざまな企業の”変革の志士”とのかけ合い・つながりを楽しんでください。



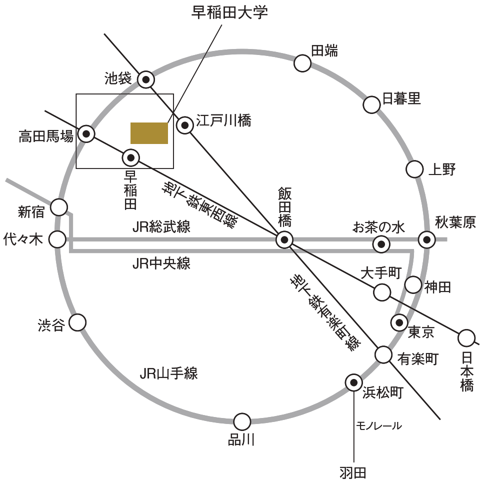
開催要項

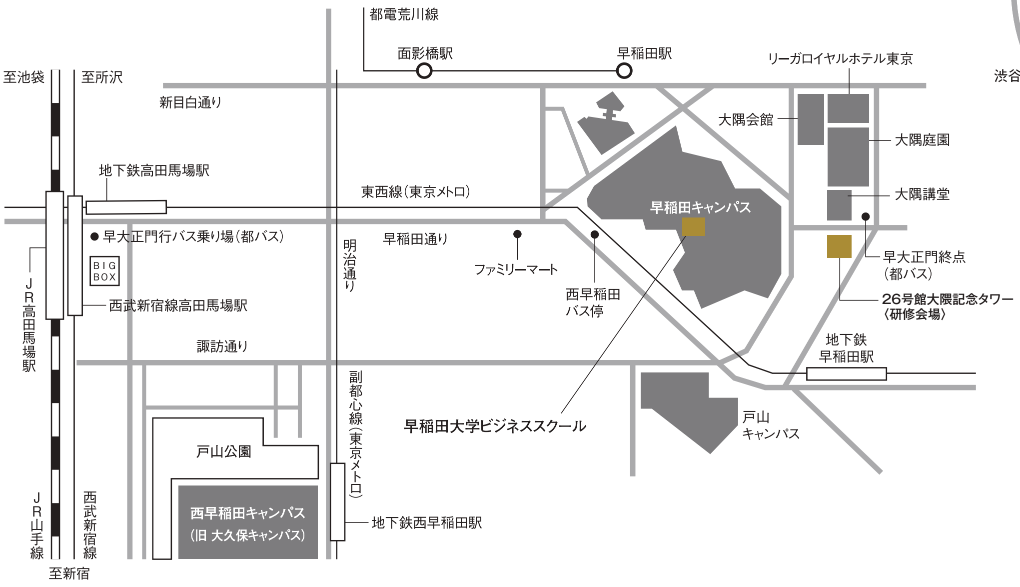
■主　　催	早稲田大学ビジネススクール（早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター）
■対　　象	経営層を目指す中堅幹部〔部長・課長クラス〕以上の方
■定　　員	各回最大30名　※定員に達し次第、受付を終了いたします。
■期　　間	① 2026年11月9日(月)—2025年11月13日(金)　　② 2026年11月16日(月)—2026年11月20日(金) ※2回ともカリキュラム内容は同じですので、ご都合に合わせてご参加ください。
■実施方法	通学による全日制
■会　　場	早稲田大学早稲田キャンパス26号館大隈記念タワー7階または8階　東京都新宿区早稲田鶴巻町516-1（予定） ※会場は変更となる場合があります。 ※新型コロナウイルス感染状況、その他の状況によりオンライン実施となる場合があります。
■受講料	1名あたり638,000円（税抜価格580,000円、消費税額58,000円。教材費・昼食・パーティ代等を含む） ※お申し込み後にキャンセルされる場合、以下の手数料を申し受けます。 1）講座初日より21日前までのキャンセル:無料、2）20〜8日前まで:受講料の20%、3）7日〜2日前まで:受講料の30%、 4）前日:受講料の40%、5）当日（6）を除く:受講料の50%、6）プログラム開始後のキャンセルまたは無連絡不参加:受講料の全額
■お問合せ先	早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター　エグゼクティブ研修事務局 ㈱早稲田大学アカデミックソリューション 〒169-0071　東京都新宿区西早稲田1-9-12　大隈スクエアビル2階 TEL：03-3208-7866　E-mail：exe-edu@w-as.jp

■ 受講方法

事前予約 ▶ 申込受付 ▶ 請求書発送 ▶ 事前課題等教材、事前案内の発送 ▶ セミナー開講

- 事前予約：〜8月　仮予約のお問合せフォームから空き状況をご確認ください。
- 申込受付：〜9月　その後お送りする参加申込フォームからお申込みください。（写真添付）
- 事前課題等教材、事前案内の発送：●セミナー開講約1か月前





早稲田大学ビジネススクール

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1　TEL 03-3208-7866
http://www.waseda.jp/fcom/wbs/